

再説明に向けた今後の準備作業等について (イージス・アショアの配備関係)



令和元年8月28日

防 衛 省

再説明に向けた準備作業①

- 現在、再説明に向けた準備作業を行っているところですが、今後、**他の国有地に関する検討**を行い、**新屋演習場と比較した検討・総合的な評価**を行うこととしています。
- 検討の一部については、**部外委託により実施**することとしており、契約に向けて入札公告など必要な手続きを行う予定です。
- そのほか、**これらの検討結果などの部外専門家による検証を含め今後、丁寧に作業**を行ってまいります。

1. 他の国有地に関する検討：遮蔽条件についての評価関係

➤ 目的

国有地において測量を実施し、正確な標高を把握した上で、遮蔽物との**遮蔽角を算出**するもの。算出した角度を踏まえ、遮蔽条件について評価する。

➤ 内容

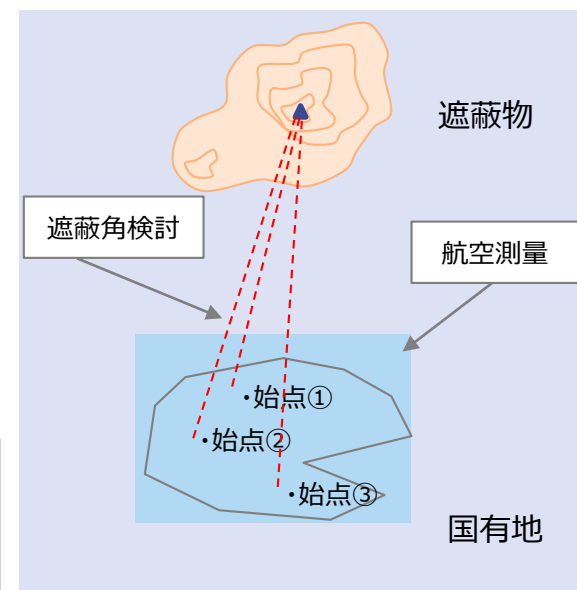
- ・ 18か所の国有地と弘前演習場で**航空レーザ測量**を実施
- ・ 国有地から遮蔽物までの**遮蔽角を算出し、新屋演習場についても算出**

➤ 期間

約6.5か月
(契約手続きを含む)

凡例

- 始点①：遮蔽角が最も低くなる点
- 始点②：遮蔽角が最も高くなる点
- 始点③：インフラ整備検討後の配置点



2. 他の国有地に関する検討：インフラ条件等についての評価関係

➤ 目 的

18か所の国有地と弘前演習場について、配備する場合に必要なインフラの整備（特にアクセス道路）、保安林の代替措置、津波対策に関する内容（コスト・工期など）を具体化するもの。

➤ 内 容

- **インフラ整備（アクセス道路、電力）**のルート、工期、コストの検討（道路管理者、電力会社との調整を含む）
- **保安林**を指定解除するための代替措置、必要な工期、コストの検討
- **津波対策**に必要な工期、コストの検討
- 新屋演習場に関し県道の付替えを実施する場合に必要なコストや工期の検討

➤ 期 間

約6.5か月（契約手続きを含む）

令和元年度予算の執行

- 令和元年度予算に計上したイージス・アショアを構成するレーダー（LMSSR）の取得及び標準設計について、今後、契約に向けて入札公告など必要な手続きを行う予定です。

※ 令和元年度予算には、**特定の配備地を前提とした経費は含まれておりません。**

➤ イージス・アショアを構成するレーダー（LMSSR）の取得

- レーダーのアンテナ本体、冷却装置、電源装置を取得するもの
 - ※ レーダー（LMSSR）を除くイージス・アショア本体（イージス・ウェポン・システム、通信装置等）2基の取得については、4月26日に米国政府とFMS契約を締結済み。

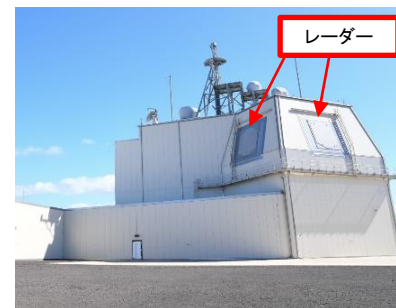
➤ 標準設計

- 特定の配備地を前提としない設計であり、施設の標準的な平面や断面等の図面を作成するもの

標準設計（イメージ）



※ 特定の配備地を前提とすることなく、建物の標準的な図面を作成



イージス・アショア



※ LMSSRは、米軍の本土防衛用弾道ミサイル防衛システムの次期警戒管制レーダー（LRDR）と同様の技術を使用（左の写真はLRDRの試作品）

（参考）令和元年度予算におけるイージス・アショア関連事業

- レーダーを除くイージス・アショア本体の取得経費（約1,382億円）2基分⇒契約済
- イージス・アショアを構成するレーダー（LMSSR）の取得経費（約351億円）2基分
- 標準設計経費（約7億円）
- 人材育成経費（約17億円）⇒契約済